
次元統括

焰蛇

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

次元統括

【Nコード】

N7300H

【作者名】

焰蛇

【あらすじ】

平凡な高校生活を楽しんでいた俺の前に現れたそいつは、次元を超えてきたって！？そんなのは中学校で卒業だ！！俺を殿とか呼ぶんじゃないねえ！俺は普通の生活を楽しんだ！何？戦争？そんなの知るかーーーー！！！！

時空超戦争

緑の生い茂る森の中

少女は一人、本を見ていた。

（もう少し…もう少し先にあれがある……！）

少女が本を閉じた瞬間、本は燃えるようにして消えた。いや、消えたのでは無い。無くなったのだ。最初からそこには何もなかったかのように

しかし、驚くべきはそこではない。驚くべきところは、それを見た少女の表情だ。

まるでそれが当たり前のように見ている。

「ふう……………」

そう言いながら一歩進んだその時
グルアアアアアアアア！！

獣の鳴き声のようなものが聞こえてきた。

（見つかった！）

人と獣…その二つを合わせたような姿をしたいわゆる『化け物』が、
数匹そこにいた。

『グオオオオオオオオオオ！！』『』『』

鳴き声が聞こえたその刹那、少女の細身な体に『それ』が襲いかかった。

「…やるしかない……か…」

はあ。と少女はため息をつき、腰にさしている刀『蒼燕刀』（そうえんとう）にてをかけた。

「霧雨…」

突く、突く、突く突く突く突く突く突く突く突く突く！

阿鼻叫喚の中、『それ』の血しぶきが飛び散る。しかし、少女の顔や服には返り血が付かなかった。

『グギヤアアアアアアアアア！…』

一匹、又一匹と、倒れていく『それ』…

そして最後の一匹。

『グオオオオオオオオオオオオ！』

少女は身を翻し、蒼燕刀をつかに戻した。

『それ』の残骸には目もくれず、少女は又歩き出した。

―数分後―

「あつた……！！これが…『神樹』……！！」

少女が神樹に手を触れた。すると、

コオオオオオオオオオオオオ

という音と共に明緑色に輝き、少女は言った

「ワシを…人間界へ」
ヒューマンワールド

言葉を放った瞬間、少女の姿は薄れていき、消えてしまった。
少女の姿が消えたとき、明緑色の光は消え、代わりに、一筋の風が
吹いた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7300h/>

次元統括

2010年10月8日15時27分発行